

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：福間・澤村]

TEL：0853-22-6905

FAX：0853-24-3342

令和3年度 病害虫発生予察情報 技術情報第2号

令和3年4月2日
島根県病害虫防除所

タマネギ腐敗病・軟腐病の発生状況について

タマネギの腐敗病・軟腐病が平年に比べて発生が多く認められました。また、発生助長要因である強風による葉の傷みも散見されています。今後、被害の拡大が懸念されます。

現地では発生状況を把握し、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 発生状況と今後の予想

1) 3月下旬の巡回調査では、軟腐病・腐敗病の発生ほ場率が46.7%（平年19.0%）、発病株率が1.81%（平年0.7%）と過去10年で2番目に多い（図1）。多発生ほ場では、今後甚大な被害を受ける可能性がある。

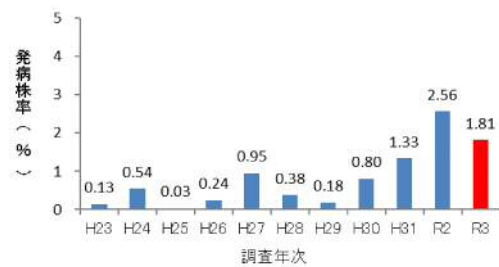


図1 タマネギ腐敗病・軟腐病の発病株率 (%)（3月下旬調査）

2) 中国地方1か月予報（4月3日～5月2日、広島地方气象台4月1日発表）によると向こう1か月の降水量、日照時間が平年並みに推移することから、本病の発生を特に抑制する要因とはならないと考えられる。

2. 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 伝染源となる発病株（図2）を早期に抜き取り、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- 2) 発病株が認められるほ場では、感染拡大防止のため、薬剤による防除を行う。
- 3) 両病害とも病原細菌は、主に傷口から感染するため、強風や雹害後に薬剤散布を行う。
- 4) 除草などの管理作業を行う際は、タマネギに傷を付けないよう注意する。
- 5) 貯蔵中の発病を防ぐため、収穫は晴天日に行い収穫物に傷を付けないよう管理する。



図2 発病株